

させぼeコインのこれからが分かる させぼeコインへの思い

昨年はさせぼe振興券という名称で紙券とデジタル券を発行し、今年「させぼeコイン」として、地域通貨事業へと移行されました(^^) 開始からの振り返りと気になる今後の方向性を、

させぼ四ヶ町商店街協同組合 川尻理事長と**させぼ五番街 高橋支配人**、**佐世保市職員**の3者に話していただきました☆



させぼ
四ヶ町商店街
協同組合
川尻理事長



させぼ五番街
高橋支配人

昨年の「させぼe振興券」(紙券・デジタル券)を振り返ってみて

川尻: 地域のお金が地域に落ちるとするのがメリットで、地元の商店街にとってはありがたかったですね♪
ご年配の利用者からは、デジタル券はわかりにくい…と紙券を支持する声もありました。

高橋: そうですね。デジタルと聞くと不安に思う方もいるかと思いますが、加盟店としては圧倒的にデジタル券の方が換金作業がスムーズでした。

川尻: はい。紙券だと数え間違いや足りない…などミスが起こりやすく、紛失などのリスクもあるため、加盟店と利用者、両方の手間を考えると、デジタル化は今後必要になってくるのかなという気がします。

市職員: 昨年、紙券を洗濯してぐちゃぐちゃしてしまった…という方もいましたね♪

川尻: 振興券の発行直後は、どのお店も売上が上がっていたようです。商店街は割と年齢層が高めのお客様が多いんですが、デジタル券のおかげなのか若い客層も増えましたよ。

高橋: 五番街も、初めは紙券の利用が多かったのですが、だんだんとデジタル券の方が上回っていましたね。特に、12月は🎁ギフト需要でさらに利用率が上がっていました。

市職員: 「振興券がここで使えると知って来ました」という声もあり、「地元のお店再発見」みたいな機会にもなっているようです😊

「させぼeコイン」への思い

高橋: 最近の消費者は、欲しいものがないと買わない傾向があるので、ひと昔前のようにバーゲンだ! 買い物に行こう!とはならないんですね。させぼeコインが買い物のきっかけになるよう、一つの起爆剤となれば良いと期待しています👏

川尻: 四ヶ町商店街では、おおかたのお店が加盟しているのですが、佐世保市全体でもっと加盟店が増えてほしいですね。使い勝手がいい⇒「どこでも使える」ということでもあると思うので。この取り組みを、加盟店と利用者はどう周知し、理解・協力を得られるかが大事なかなと。

高橋: そうですね。させぼeコインも含め、好きな決済方法を選べるというのは、利用者にとって大事なサービスの一つだと思います。実績のある加盟店の情報共有しながら、みんなでこの事業を進化させていけたら、利用者の利便性・満足度UPにもつながるのではないのでしょうか♪

市職員: 広報活動頑張ります!お店側は加盟店になることで、そして利用者はeコインを使うことで、地元の経済活性化に寄与できるんだ!という地元への思いを、皆さんに共有・共感してもらえるようになればいいと思います(^^)

今後はこうなる!?

目指すは

加盟店

現在1,120店⇒**2,000店舗!**

アプリダウンロード数

現在2万⇒**5万!**

地域活性化はもちろん、利用者(あなた!)とお店や地域をつなげる、地域内コミュニケーションツールとしても、どんどん進化していくnya~☆



今後の活用法としては…

- **商店街単位でポイント発行**
→例)〇〇商店街で買い物すると、5%ポイントバック♪
- **各店舗ごとにクーポン発行**
→アプリ内で広報・宣伝・販促活動ができる!
- **ボランティアポイント発行**
→例)ゴミ拾いに参加したり、高齢者の見回りをしたり、ボランティア活動でポイントを獲得♪

など、地域コミュニティの活性化にも役立つ地域通貨事業を目指しています♪